

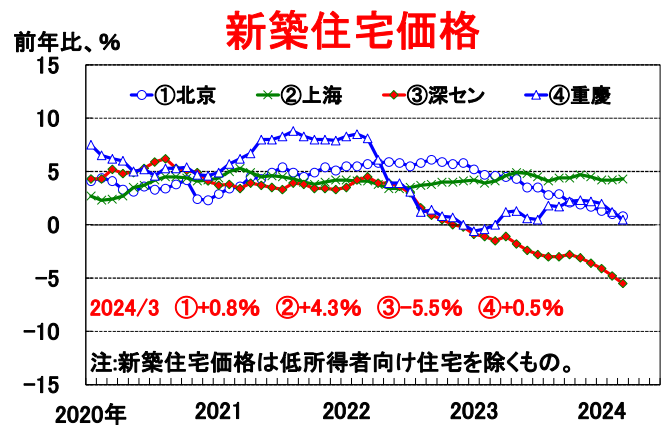
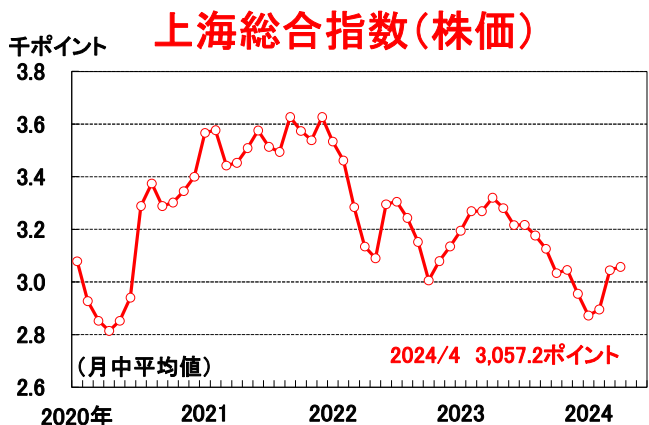
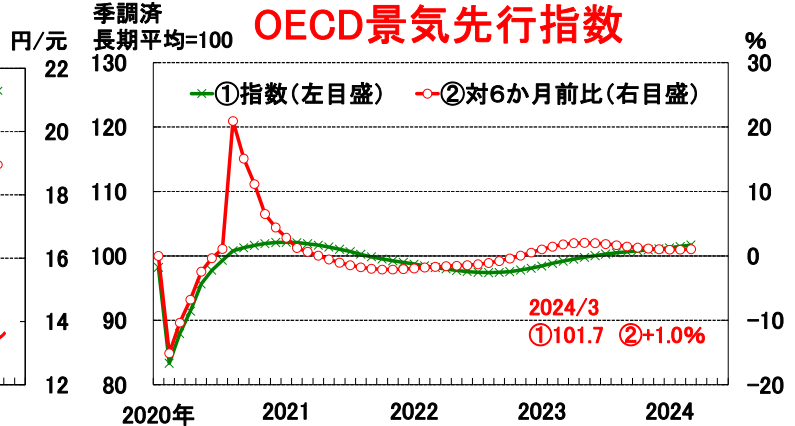
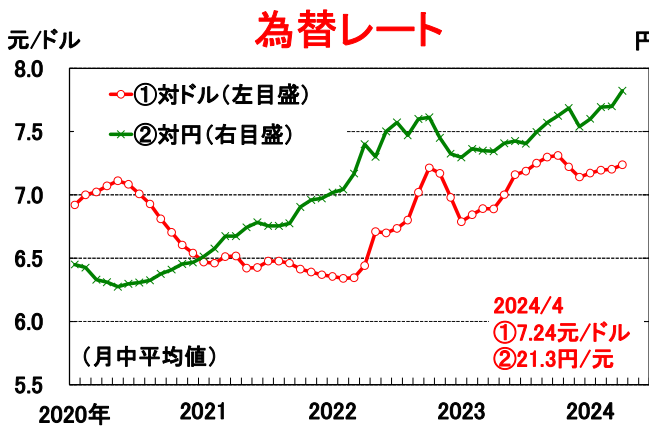
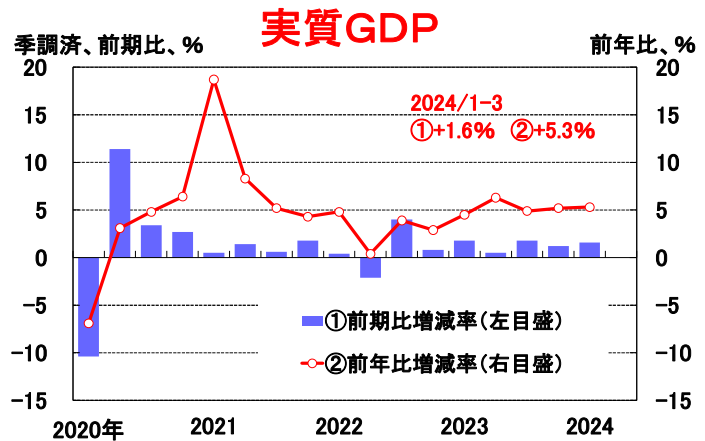
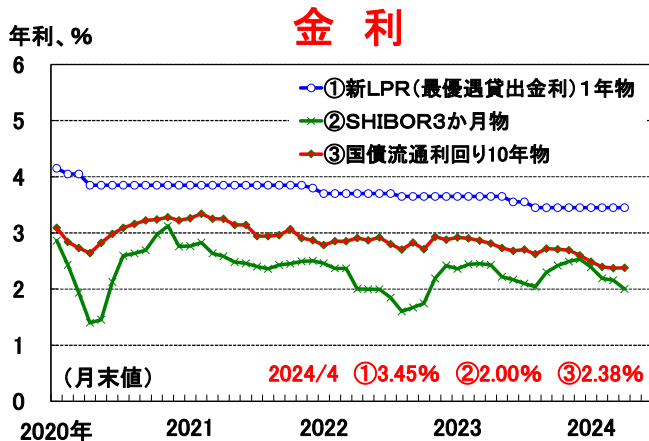
グラフで見る中国経済 2024年5月号(No. 180)

2024年1～3月期の中国の実質GDPは前年比+5.3%と、前期(同+5.2%)に比べて成長率がやや高まった。通関輸出と固定資産投資が緩やかに増加し、成長率を押し上げた。その一方で、雇用・所得情勢の弱含みや住宅価格の下落に伴う逆資産効果を背景に、個人消費の動きを表す小売売上高は減速した。足元では、住宅販売面積の大幅な減少が続く、企業の生産活動の回復にも一服感がみられる。こうした中、中国政府は不動産企業への資金支援を強化し、工業分野の設備更新や耐久消費財の買い替えなどの内需拡大策に着手した。

【足元の景気判断】

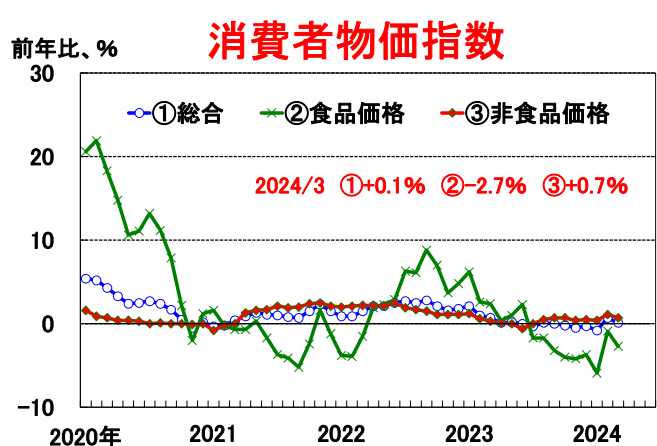
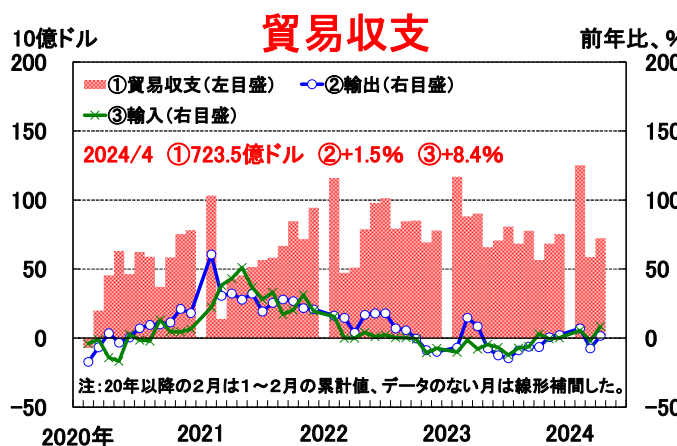
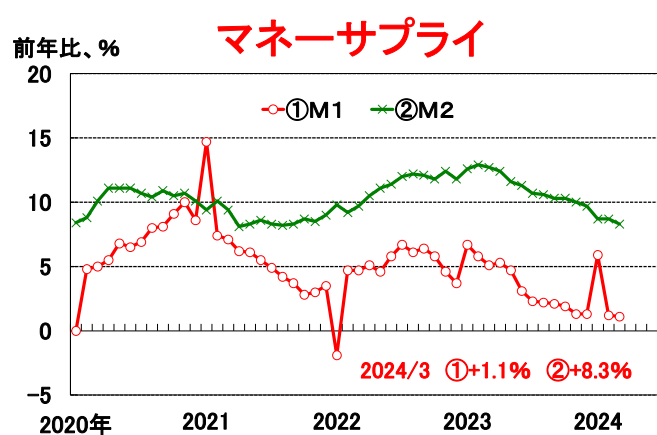
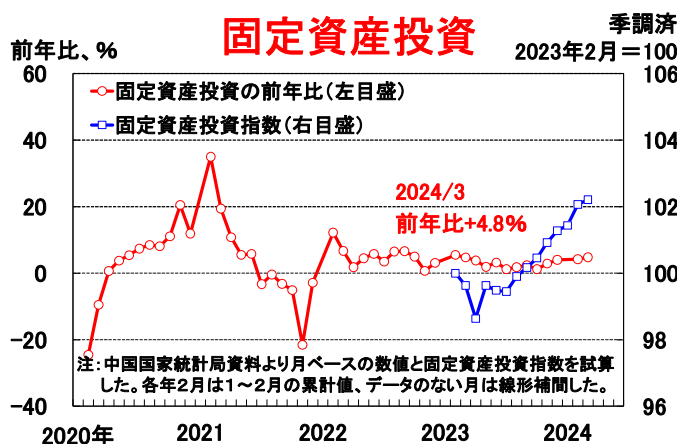
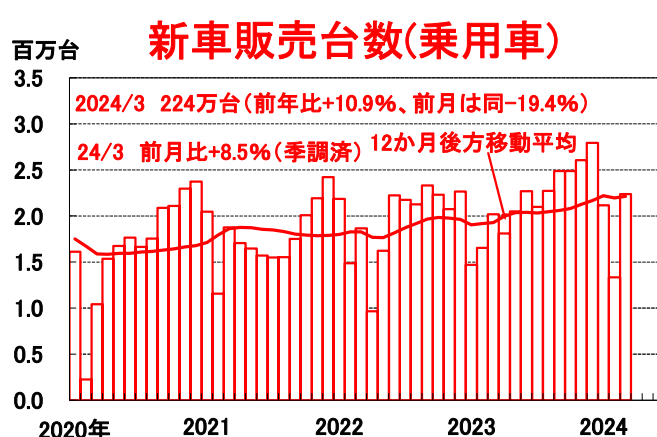
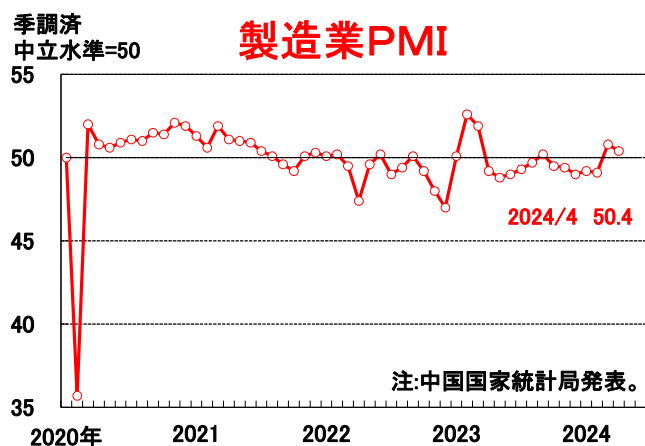
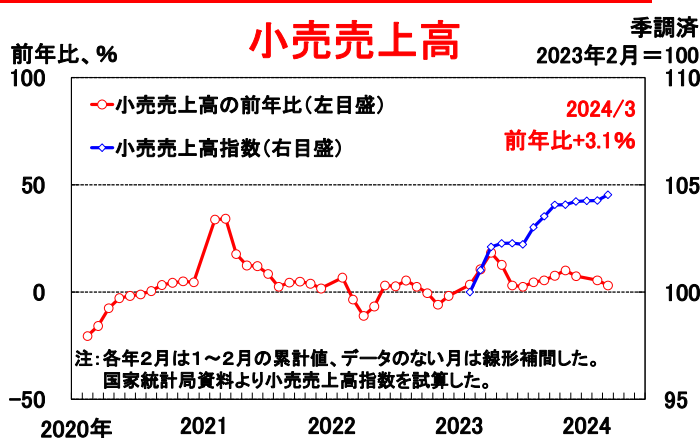
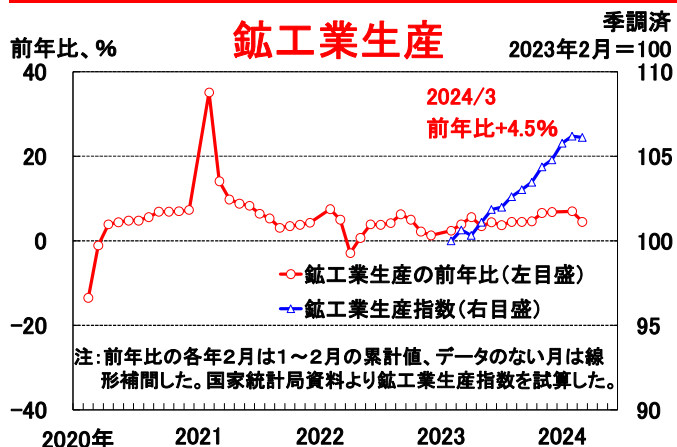
指標	景気全般	輸出	固定資産投資	小売売上高	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	→	→	↑	↓	→	→

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。



(出所) 中国人民銀行、中国国家统计局、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) 中国国家统计局、中国海関総署、中国商務部、中国汽车工业协会、中国物流購買連合会、中国人民銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。